南アルプス市の行政改革について

令和6年10月9日

南アルプス市総合政策部政策推進課

行政改革とは

行政改革とは、今ある行政の仕組みを現在直面する様々な課題や社会の変化に対応できる形に改善し、サービスの質を充実させ、業務の効率化や経費の削減を図っていくことが主な目的です。

行政改革は、無駄をなくし、より市民に密着したサービスを提供するために必要です。財政面や組織面の効率化が重要なポイントとなります。

なぜ行政改革が必要なのか

① 社会経済構造の変化

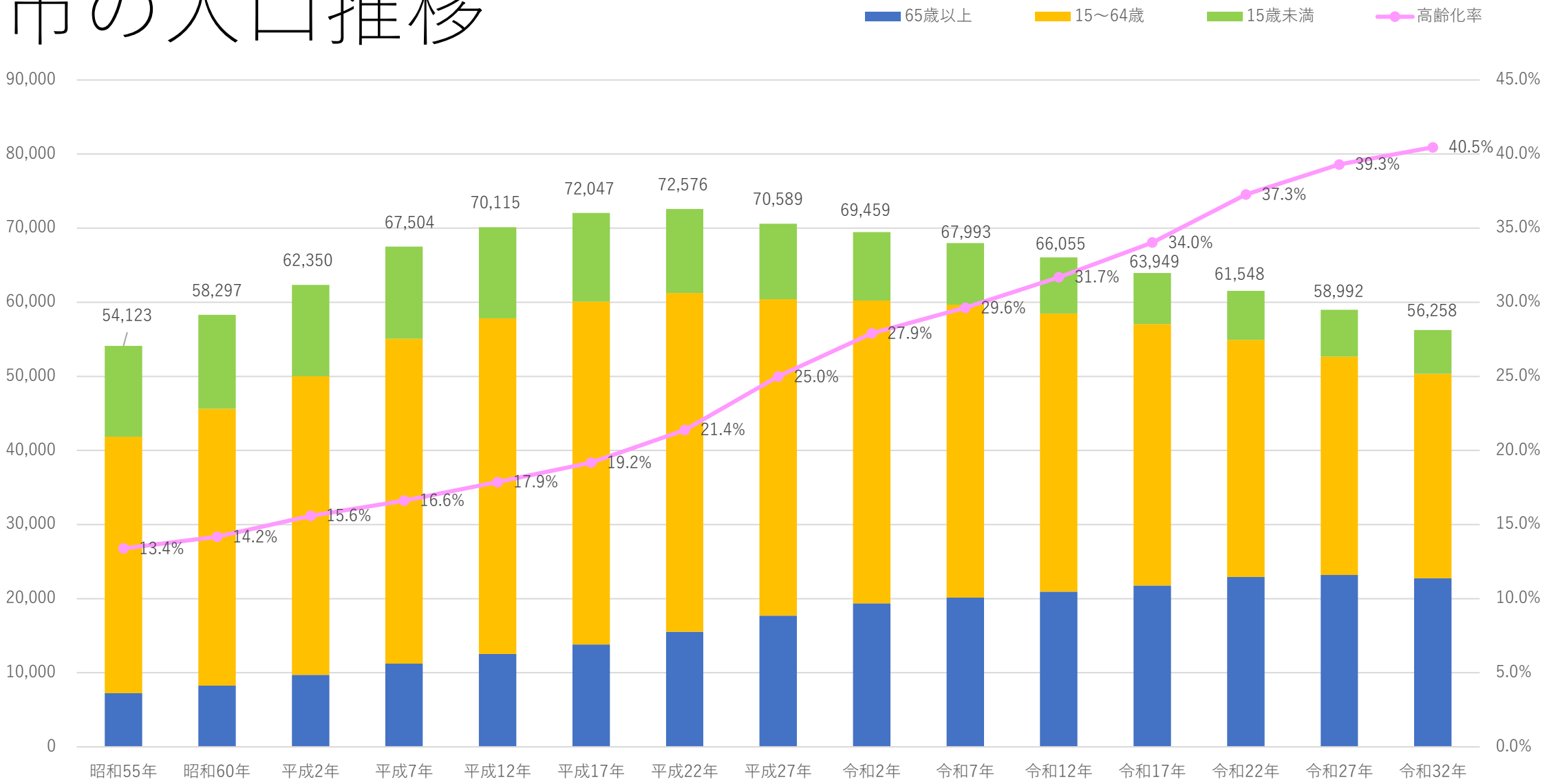
② 財政健全化と持続可能性の確保

① 社会経済構造の変化

人口減少と**少子高齢化**により**労働力の減少**よる**税収の落込み**や、普通交付税の減少による収入が減少する一方で、高齢化の進展による医療や介護等社会福祉に係る経費の増大が予想されます。

また、国・県から事務権限が委譲されることも予想され、**これまでどおりの行政サービスの維持・継続が困難になる恐れがあります。**

市の人口推移

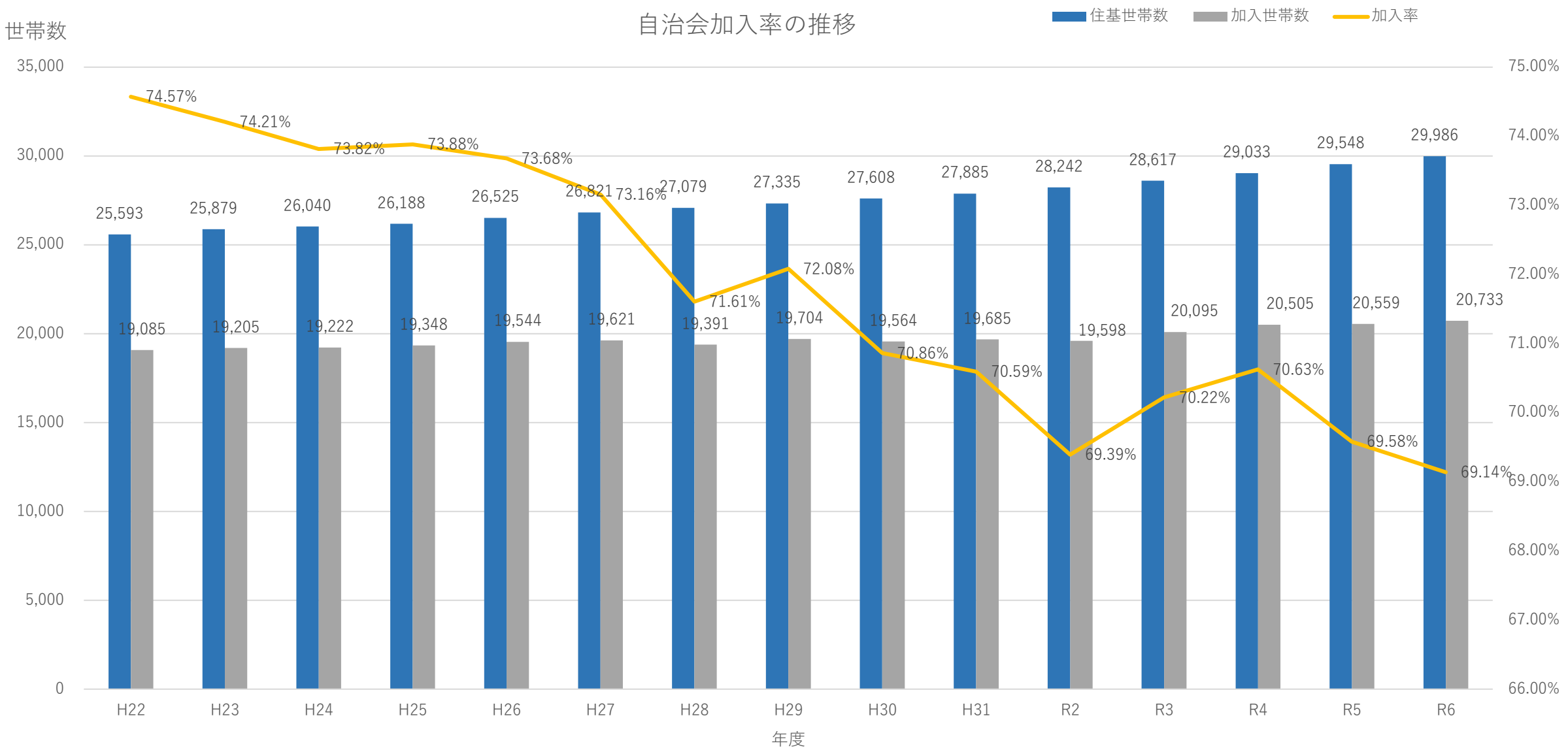


※1980 年（昭和55 年）から2020 年（令和2年）までは国勢調査に基づく人口をもとに作成。
※2025 年（令和7 年）から2045 年（令和27 年）までは令和2年12月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計値をもとに作成。

価値観の多様化と地域自治機能の低下

社会経済構造やライフスタイルの変化、価値観の多様化により、行政サービスへの市民ニーズは多様化・複雑化しています。また、地縁に捉われない多様な人々のつながりが生まれる一方で、**地域コミュニティ（自治会）への加入者は減少**してきており、地域コミュニティの機能や課題解決能力の低下が懸念されています。

自治会加入状況


自治会加入率の推移
住基世帯数
加入世帯数
加入率
世帯数
35,000
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
75.00%
74.00%
73.00%
72.00%
71.00%
70.00%
69.00%
68.00%
67.00%
66.00%
H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6
年度
25,593 25,879 26,040 26,188 26,525 26,821 27,079 27,335 27,608 27,885 28,242 28,617 29,033 29,548 29,986
19,085 19,205 19,222 19,348 19,544 19,621 19,391 19,704 19,564 19,685 19,598 20,095 20,505 20,559 20,733
74.57% 74.21% 73.82% 73.88% 73.68% 73.16% 71.61% 72.08% 70.86% 70.59% 69.39% 70.22% 70.63% 69.58% 69.14%

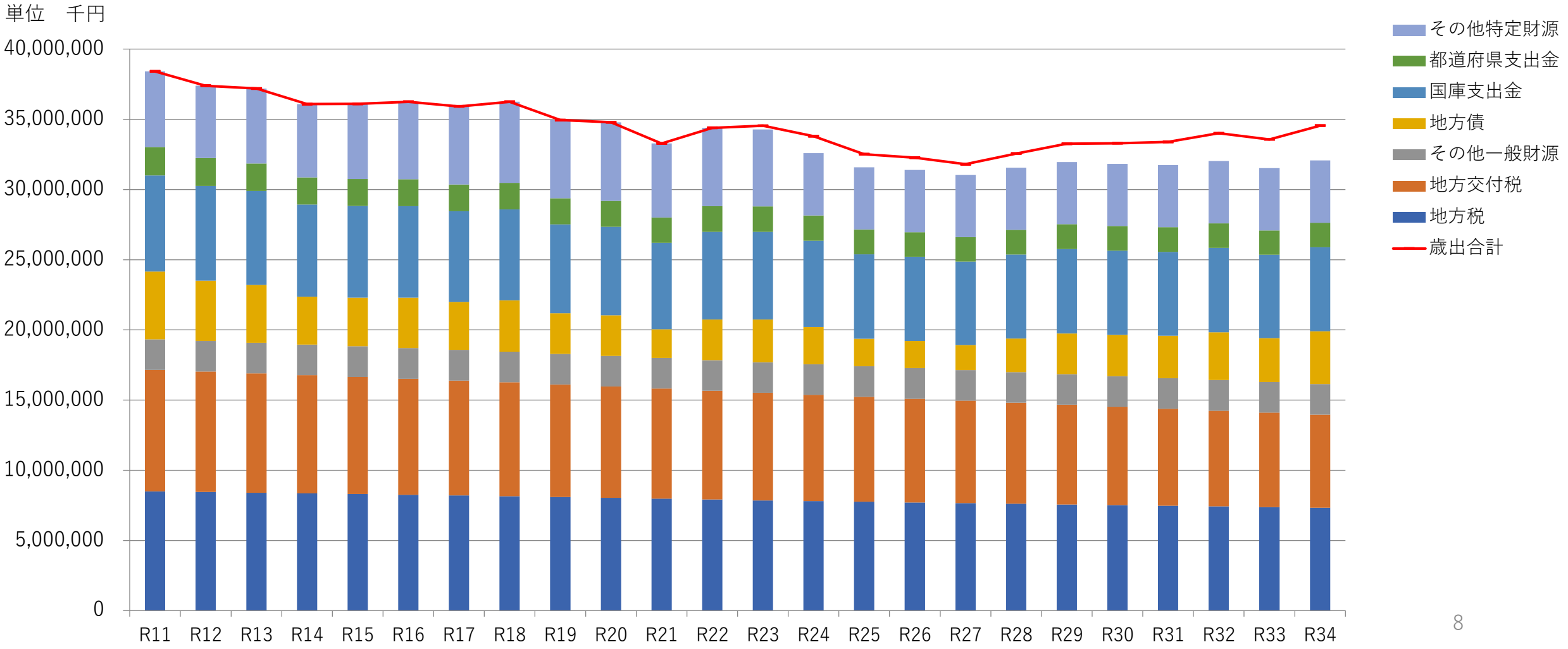
② 財政健全化と持続可能性の確保

地方自治体の財政状況は厳しい状況にあります。多くの自治体では、過去のインフラ整備による借金の返済や、増え続ける福祉関連の支出が重荷となっており、**財政を健全に保つことが急務です。**

少子高齢化により生産年齢人口が減少することで市税収入の減収が見込まれます。一方で、公共施設等の機能を適切な状態で保持するためには、**維持管理や運営に係る経費が毎年度必要**になります。このような管理運営・整備更新の財源として税収だけでは限界があることを前提に、公共施設等のあり方を検討する必要があります。

歳入・歳出全体ベースでの財政推計

今後の人口推計や、財政見通し、扶助費の推移などから試算した将来の歳入・歳出に、将来の公共施設等の更新を全て実施した場合に生じる歳入・歳出を加えた試算となっています。実際の市政運営にあたっては、更新を行う公共施設等の検討や更新時期の見直しにより、以下の財政シミュレーションとは異なる結果となります。（公共施設等総合管理計画より）



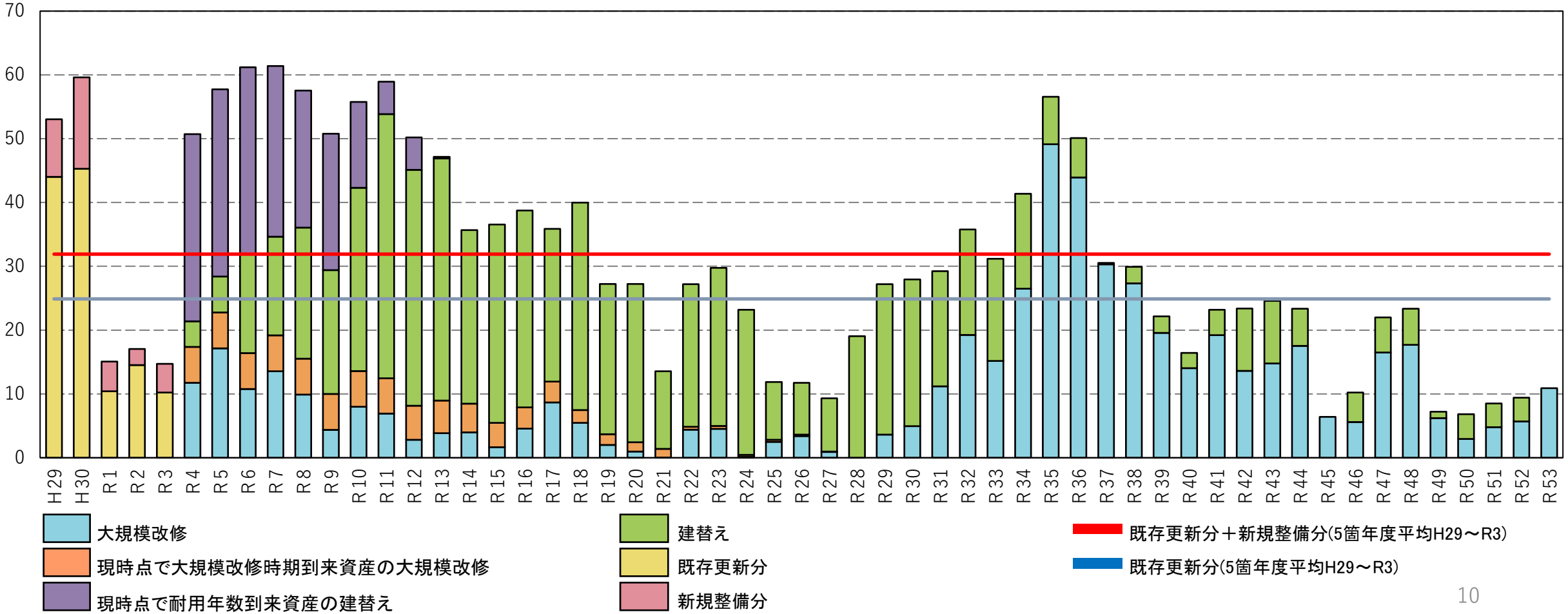
構造別・築年数別施設数

建築年度		鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造	軽量鉄骨造その他	合計	
旧耐震基準	～S41	2	0	5	1	8	旧基準 57施設 29.0%
	S42～S46	1	1	4	5	11	
	S47～S51	3	3	1	2	9	
	S52～S56	13	11	1	4	29	
新耐震基準	S57～S61	15	11	1	0	27	新基準 140施設 71.0%
	S62～H1	3	2	1	0	6	
	H2 ～H3	6	7	9	1	23	
	H4 ～H8	10	4	8	1	23	
	H9 ～H14	14	7	11	0	32	
合併後	H15～H22	7	6	6	1	20	合併後 29施設 14.7%
	H23～H30	4	4	1	0	9	
合計		78	56	48	15	197	30年以上 112施設 56.9%
構造別施設割合		39.6%	28.4%	24.4%	7.6%	100%	

今後の公共施設等の更新にかかる経費について

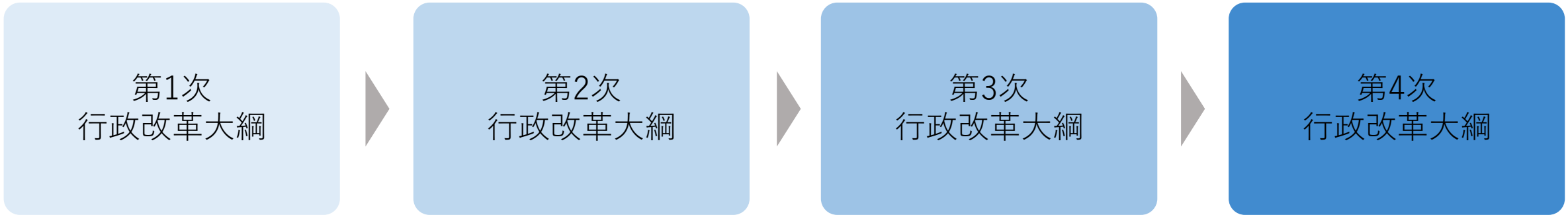
年更新費用試算額：30.7億円
公共施設投資的経費　既存更新分及び新規整備分過去５箇年度平均：31.9億円
公共施設投資的経費　既存更新分過去５箇年度平均：24.9億円

50年間の更新費用総額：1536億円



これまでの南アルプス市の取り組み

南アルプス市では、市を取り巻くさまざまな行政課題に柔軟かつ的確に対応できるように、今ある行政の形を改善し、業務の効率化と経費削減、市民との協働を図りながら、行政サービスの維持と向上を目指し、平成１７年に第１次**行政改革大綱**及び**実施計画**の策定を行い、第２次、第３次、第４次と行政改革に取り組んできました。



行政改革大綱・実施計画とは？

行政改革大綱

行政改革を進めるための「**基本方針**」や「**長期的な方向性**」を示す計画です。主に、改革の背景、目的、取り組むべき課題を明確にし、どのような方針で改革を行っていくかを総合的にまとめています。

行政改革実施計画

行政改革大綱で示された方針や目標を「**具体的にどのように実行するか**」を定めた計画です。行政改革を進める際の具体的な行動計画や施策を提示し、実行可能な形で進行管理を行う役割を担っています。

第１次行政改革大綱・実施計画
（平成17年～平成21年度）

市財政の健全化と、事務の効率化及び旧町村でばらつきのある事務等の統一化を図る。

基本的な考え方

- 市民との協働による新市の建設
- 中・長期的視点に立った行政改善の取り組み
- 簡素で効率的な行政運営への取り組み
- 新しい行政経営システムの構築

主な取り組み

- 合併後の事務の統一
- 指定管理者制度の導入
- 定員適正化計画の策定

指定管理者制度導入施設数

令和６年４月１日現在

施設分類	個数
レクリエーション施設・観光施設	3
屋外スポーツ施設	12
屋内スポーツ施設	16
温泉施設	5
健康センター	2
高齢者福祉施設	3
山小屋	4
産業振興施設	1
障害福祉施設	1
都市公園	5
農業振興施設	4
農村公園	1
文化・生涯学習施設	3
保育所	1
合計	61

第２次行政改革大綱・実施計画
（平成22年度～平成27年度）

新たな行政課題に迅速、的確に対応し、自主・自立の行政運営を推進する。

基本的な考え方

- 事務事業の見直し
- 時代に即応した組織・機構の見直し
- 定員管理及び給与の適正化
- 職員の能力開発と効果的な行政運営
- 行政の情報化と市民参画の仕組みの構築
- 公共施設の配置と管理

主な取り組み

- 行政評価システムの導入
- 人事評価制度の運用

第３次行政改革大綱・実施計画
（平成28年度～平成32年度）

最小のコストで最大の効果を上げる行政システムの構築を図り。財政の健全化と、充実した公共サービスの実現を目指す

基本的な考え方

- 財政の健全化
- 行政経営システムの見直し
- 人材育成と時代に即応した組織の見直し
- 市民との協働により取り組む「多様な協働」の推進

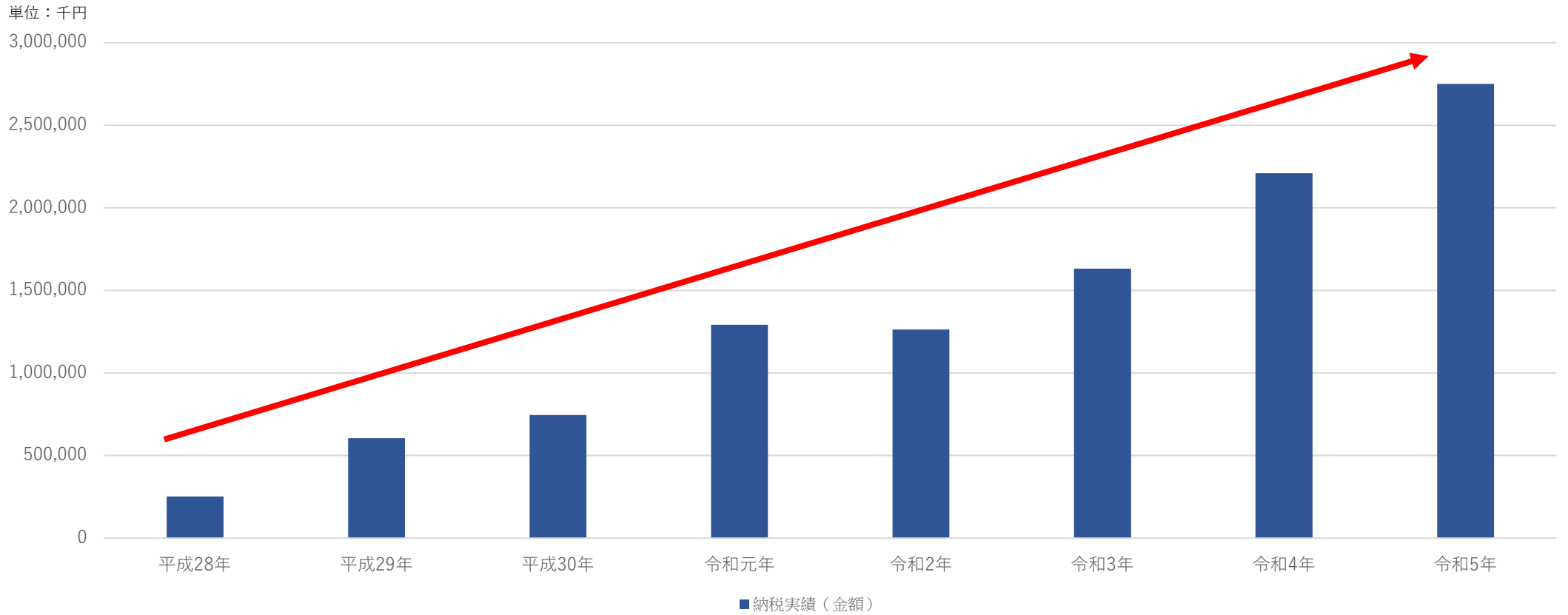
主な取り組み内容

- 上下水道料金
- その他の自主財源の確保
- 公共施設の再配置

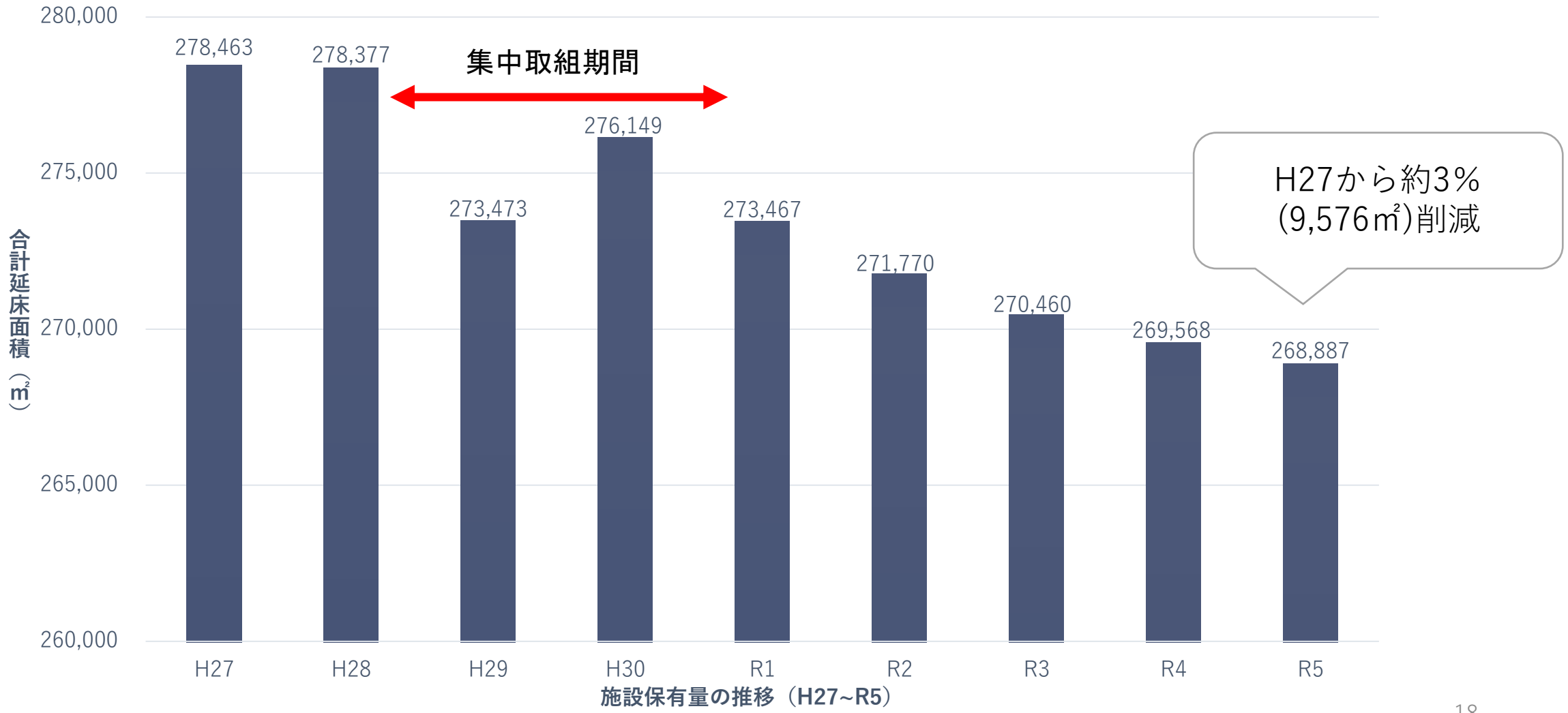
南アルプス市のふるさと納税の推移

単位：千円

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
納税実績（金額）	255,428	604,404	745,961	1,292,148	1,263,695	1,632,253	2,209,795	2,750,182



公共施設の保有量の推移



第４次行政改革大綱・実施計画
（令和3年度～令和7年度）

持続可能な行政運営を目指し、ICTの活用や働き方改革を進め、効率的な行政運営を実現する

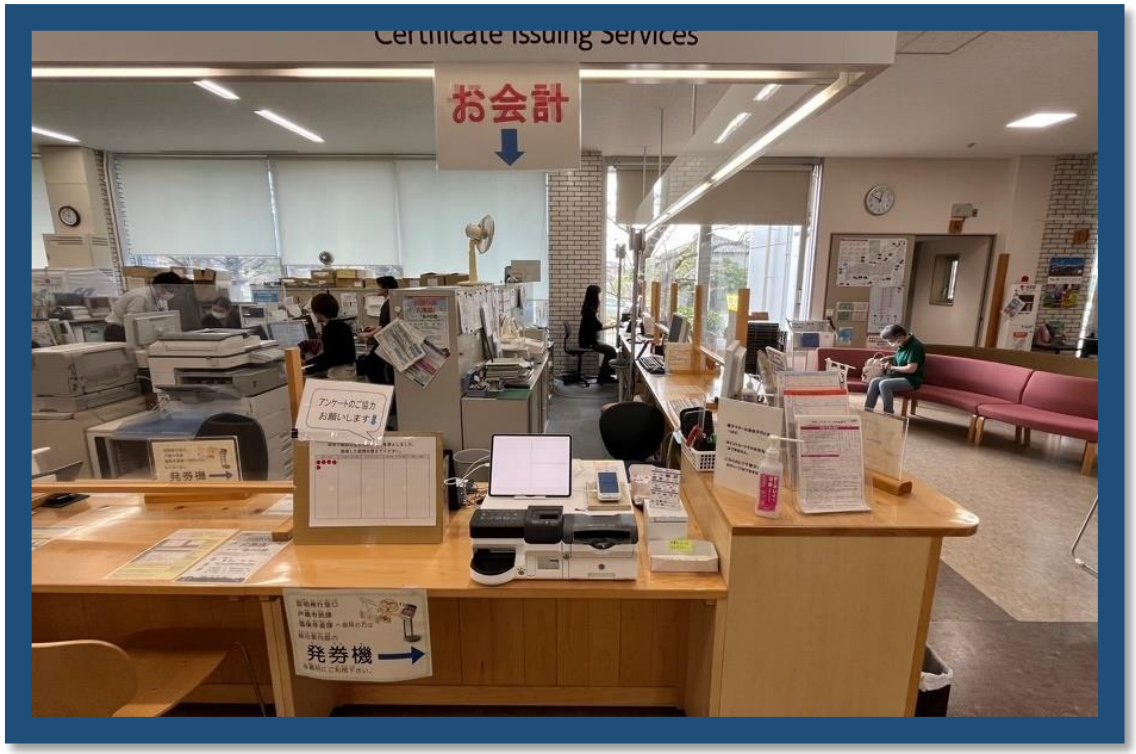
基本的な考え方

- 安定的な行財政運営の維持
- 協働の推進と環境整備

主な取り組み

- 最新技術の導入と利活用
- 公共施設等の適正管理・配置

最新技術の導入と利活用
キャッシュレスレジの導入



最新技術の導入と利活用
窓口受付の自動発券機

最新技術の導入と利活用
ペーパーレス化

最新技術の導入と利活用
LoGoフォーム

健康増進課からのお知らせ

●**健康診断を受けましょう**　健康診断のお申し込みはしましたか。
市の健康診断は完全予約制のため、事前にお申し込みください。

【10月の健康診断の実施日】

総合健康診断　**◆日程**　10/27～31　**◆場所**　櫛形健康センター

乳がん検診　**◆日程**　10/3、10～11、21～22
◆場所　健康福祉センター（かがやきセンター）

◆日程　10/1～2　**◆場所**　櫛形健康センター

◆日程　10/9～11、15～17、21～22、24、29～30
◆場所　甲西保健福祉センター

※申込方法や不明な点は、健康増進課までお気軽にお問い合わせください。

●**休日乳がん検診の予約受付**　平日の受診が困難な方のために、予約制の休日検診を実施します。健康増進課にお電話いただき、ご希望の検診日をお伝えください。または、右のQRコードから受付フォームにアクセスしてください。

◆受付時間　平日 8:30～17:15（水曜日のみ 19:00まで）
※受付フォームは24時間アクセス可能

◆検診日・会場（検診機関）　①11/16（土）かがやきセンター（厚生連）
②11/17（日）櫛形健康センター（甲府市医師会）
③12/8（日）かがやきセンター（厚生連）

●**検診バスでの受診が困難な方のための結核・肺がん検診（胸部レントゲン検診）【完全予約制】**
椅子に座ったままレントゲン検査が受けられます。

◆対象者　・立位（立って）での受診が困難な方　・階段の昇り降りが困難な方
・車椅子の方 等（※車椅子のままでも受診できます。）

◆日程　12/10（火）　**◆時間**　13:30～15:00　**◆場所**　かがやきセンター

※申込方法や不明な点は、健康増進課までお気軽にお問い合わせください。

問健康増進課　☎284-6000

マイナンバーカードの休日交付（予約制）

◆日時　10/26（土）
①9:00～12:00
②13:00～16:00

◆場所　戸籍市民課（市役所 本館）

◆対象　カード発行申請後、市役所から交付通知書が届いている方

※休日のカード交付は予約制となっています。電話またはWEBサイト（QRコード）から予約の上、来庁してください。

※次回は、11/24（日）予定です。

問戸籍市民課　☎282-6032

下水道変更原案の縦覧および意見書の提出

下今諏訪A工業団地拡張整備に伴う南アルプス都市計画下水道の変更原案および図面等の縦覧を次のとおり行います。

◆縦覧期間　10/30(水)～11/13(水)
8:30～17:15（土日・祝日除く）

◆縦覧場所　上下水道局工務課

※変更原案に意見のある場合は、意見書を提出することができます。意見書の提出ができる方は、南アルプス都市計画区域の市民および

最後に

これまで、南アルプス市では、４次にわたる行政改革大綱に基づき、様々な行政改革を推進してきました。また、人口減少・少子化対策として、子育て支援や移住定住促進、企業誘致などの施策を行い、人口減少に効果を上げております。

しかしながら、長期的展望では、**人口減少**と**少子高齢化の進展**、**生産年齢人口の減少**、これに伴う**税収の減少**、**社会保障費の増大**、**公共施設の老朽化**など、多くの課題に直面しています。これらの課題を克服し、将来にわたって持続可能な行政サービスを提供していくためには、これまでの取組みを継続しつつ、新たな視点に立った改革をスピード感を持って推進していくよう、**第５次行政改革大綱**を作成し、取り組んでいきたいと考えています。

今後も南アルプス市では、以下の取り組みを推進していきます。

・さらなる業務の効率化

DX、ICTの活用を進め、行政手続きの簡素化・効率化を図る。

・持続可能な財政基盤の確立

無駄のない予算編成を行い、長期的な財政の安定を図る。

・公共施設の再配置

施設の統廃合や長寿命化など社会ニーズに合った公共施設の再編を進める。

・市民との協働の強化

市民参画の機会を増やし、共にまちづくりを進める。